

担当授業・研究 国語、日本語



▶▶▶▶ 地域子ども教育学科 准教授 小山内 早苗

1-学生主体で、言葉についての学びを深めています

子どもコミュニケーション・学校インターンシップ入門の授業では、地域の幼稚園を訪問し、子どもたちの言葉について調査してきました。幼稚園での交流活動を軸に、大学生から手紙を書いて届け、幼稚園の子どもたちからは楽しかった感想をいただきました。絵や折り紙、言葉などによるコミュニケーションから、子どもの言葉の発達について学びを深めています。



2-授業参観を通し、学生主体で年少者日本語教育の現状を学んでいます

静岡県における年少者日本語教育の現状を学ぶため、地域の小学校を訪問し、取り出し授業の実際から、日本語教育の重要性について考えています。浜松市をはじめとした地域では、外国につながりのある子どもたちがたくさん見られます。学習言語としての日本語の習得が子どもたちの将来を大きく左右すると考え、言葉の学習を進めていく上で大切なことは何かを、指導者の先生と共に考えています。

小学校における教科教育と日本語教育を融合させた実践を調査することから、子どもたちの言葉の問題やアイデンティティの問題など、日本語教育の課題を解決することを目指し、学びを深めています。



3-最近の研究

上記の他に、学生の言語化能力向上を目指した研究を行っています。

○ 言語化能力向上を目指した形成的評価—実践研究からの考察—

2024 浜松学院大学研究論集20号